

9 番 熊 澤

受付番号第8号、質問議員9番、熊澤友子です。

件名、「町民にやさしい防災と避難所対策を」。

今年の1月1日に、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生し、建物の倒壊や津波の被害など死者は240人以上(災害関連死を含む)となった。その後も日本各地で地震が続くなど、大きな地震がいつどこで発生してもおかしくない状況であると思われる中、次の質問をする。

1. 地震に強い安全なまちづくりを目指すため、木造個人住宅の「耐震診断」「耐震改修工事」に補助金を交付しているが、現在どのような状況であるか。

2. 2年前に生涯学習センターで防災訓練を行った際、テントを設置し、個人のプライバシーを守れるようになっていたが、ほかの避難所でも活用できるよう計画的に増やしていく考えはあるのか。

3. 7か所の避難所が全て開設した場合、職員の配置は決まっているのか。

4. 避難所において、ペットと同伴避難するルールが定められていると思うが、周知はされているのか。

以上です。

議

長

答弁願います。

町長。

町

長

それでは、熊澤友子議員から「町民にやさしい防災と避難所対策を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「地震に強い安全なまちづくりを目指すため、木造個人住宅の「耐震診断」「耐震改修工事」に補助金を交付しているが、現在どのような状況であるか」についてであります。町では、平成29年度から、昭和56年5月31日以前に建築確認通知書を受けて建築された木造住宅における耐震改修工事についての補助制度を創設し、それに併せ、同住宅における耐震診断に対しても拡充をし、現在に至っております。

耐震改修工事及び耐震診断に対する補助制度に関する相談は経常的にあるものの、補助金交付の活用には至っていないのが現状であります。能登半島の地震以降、本制度への問合せは増えてきておりますので、対象となる方に活用していただけるよう、より一層の周知に努めてまいります。

次に、2点目の御質問の「2年前に生涯学習センターで防災訓練を行った際、テントを設置し、個人のプライバシーが守れるようになっていたが、ほかの避難所でも活用できるよう計画的に増やしていく考えはあるか」についてであります。一昨年の防災訓練は、山北連合自治会を対象に風水害を想定した避難所開設・運営訓練を実施しました。役場職員と自治会役員等により避難所を設置し、避難された町民の受付や誘導などを体験していただきました。その際に使用していたテントは役場地下倉庫のほか、各避難所にも、総数で500張りを備蓄しております。今後も、定期的な更新や新製品の購入などを通して必要数を確保してまいります。

次に、3点目の御質問の「7か所の避難所が全て開設した場合、職員の配置は決まっているのか」についてであります。避難所が開設される時期は、災害の種類・程度・タイミングにより異なります。大地震のような突発的な状況では、職員自身も身の安全を確保し家族や家庭の状況を確認しなければならないため、状況に応じ災害対策本部の指示により配置することになります。大雨や台風など避難指示などを発令する際には、災害対策本部により必要な職員を事前に割り当て開設に当たります。

次に、4点目の御質問の「避難所において、ペットとの同行避難のルールが定められていると思うが、周知はされているのか」についてであります。ペット同行避難については、避難所開設における課題であると認識しており、これまで川村小学校と山北中学校での受入れについて検討し準備を進めてまいりました。

昨年度の防災訓練において、山北中学校にはペット同行避難が可能であると判断しましたので、有事の際は受入れの体制を整えることとしております。

また、同行避難のルールについては、今年度発行予定の防災ハンドブックに掲載するとともに周知を図ってまいります。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 ただいま答弁をいただきまして、1点目の耐震診断と耐震改修工事なんです。これは1件も現実的には行われていなかったということでよろしいんでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 今のところ、1件も活用がございません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 今年の初めの能登半島地震では、本当に各災害に遭ったところをテレビで見ましたところ、やはり家自体がぺしゃんと倒れているところがすごく多かったんですね。そうすると、やっぱり耐震は大事じゃないかなと思ひまして、私も質問させていただいているんですが、1件もないというと、町民の意識がないということなんでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 今年の1月1日の能登半島地震以降、4件ほど相談はあったんですが、補助金を活用するまでには至らなかったような状況でございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 耐震工事となると、やはり金額的にも多くかかると思うんですね。ですけど、そういうところで皆さん、私自身もそういうふうに思うとどうなんだろうところは多々出てきますのでやはりあるんですが、これは大事な町を守るにも、自分の家を守るのも同じなんですね。

ですから、その辺をやはりもっと町民の皆さんにもPRすることが大事じゃないかなと思いますので、その辺はいかがですかね。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 町民の方への周知は、おしらせ版とかホームページ等でお知らせのほうはさせていただいているんですが、いかんせん、委員さんおっしゃられるように、診断に関しましても60万から100万ほどかかるですとか、工事になれば、さらに費用がかかってしまうということで、なかなか補助金の活用までには至らない状況でございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 診断に60万からお金がかかると今言われましたけど、補助金は6万円程度でしたよね。診断自体も60万ぐらいかかるということなんですか。

議 長 都市整備課長。

都市整備課長 木造住宅の耐震診断料金は、延べ床面積が120平米ほど、在来軸組工法というんですか、そういう構造でおおむね60万から100万円ほどかかるということで、日本耐震診断協会のホームページといたしますか、そちらのほうで記

載のほうがございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、診断に60万程度はかかるということと、工事になりますと、町の補助金は60万でしたよね。そうすると、個人で全部をやらざるを得ないという形になってくる形ですね。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 おっしゃるとおりでございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 町有施設は、計画的に令和5年5月に、山北町耐震改修促進計画というのが策定されましたよね、県とともに、一緒に作成するんだということで作成されていると思うんですが、その中で町の町有施設は、現在は73%行っていると。目標としまして、令和6年度までに町の町有施設は95%だということですから、これは徐々にいろんなところを耐震しているという形で理解してよろしいんですか。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 そういう意味ではございません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 では、これはどのような意味なんですか。目標が決まって、年度が決まって、パーセントが決まっていますよね。どういうふうにしていかれるんですか。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 これ県の目標値でもありますんで、そちらのほうに合わせるような形なんですけども、徐々にやっていけばいいんですけど、なかなか財政的なものもありますし、民間のほうに関して言いましたら、耐震改修でも相当費用がかかりますので、民間の方はどうしても建て替えのほうに行かれる方が多いものですから、建て替えを徐々に増やしていただければ、耐震化率もそれなりに上昇していきますので、そちらは3月のときに大野議員さんからもお話ありましたけども、そちらをちょっと頼りにしている状況でございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 では、これは県との目標値だということで、現在山北ではそこまではいっ

てないということによろしいんですね。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 そのようなお考えでよろしいです。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 町の補助金制度は、診断が6万円で、工事の限度額が60万、これは最初に計画を立てたときに決めたもので、今は全然金額的には上がってきているという形なんでしょうか。

議 長 都市整備課長。

都 市 整 備 課 長 今現在も耐震の診断補助は4分の3の補助率で、6万円が上限額となっております。こちらは診断です。

耐震改修工事に関しましては補助率2分の1で、上限が60万ということで運用させていただいております。これは参考までに、近隣の市町と比較しましても、補助率的には4分の3なんで、近隣市町ですと、2分の1のところから、1分の1というところもありますが、補助の上限額につきましては、真ん中辺ぐらいといいますか、多いところで10万円、少ないところだと3万円の補助。これはあくまで耐震診断のほうになります。

改修工事につきましては、近隣市町、どこも補助率は2分の1なんです。金額に関して言いますと、50万のところ、最低ですと40万のところもありますし、多いと100万もあるんですが、うちは中間ぐらいなのかなというところでございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 分かりました。これは大きな金額が、個人の方がやるとなると大きな自己負担ということで、ほぼ自己負担みたいなものなので、やっぱり手を挙げる方が少ないというのは理解できました。

じゃあ、次に、2番目の質問に行かせていただきます。防災所でテントを500張り準備しており、備蓄していますということですので、そうしますと、災害があって避難所が開設されて、個人のプライバシーということになると、何日か日にちがたってから使用する形になると思うんですが、どこにでも持ち運びができて、広いところではないと、やっぱりテントを張るというのも大変なことだと思うんですが、でも避難所にどこにでも張

れるような状況だったら、どこでも持っていけるよという状況にしている
ということによろしいでしょうか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 現在各町内の避難所に割り振りをして保管をしておりますが、当日御覧に
なっていたいたででしょうか。テントは十分にどこにでも持ち運びができる
ものとなっております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そういうふうに準備できているということは、とてもありがたいことだ
と思います。

このテントはそれでオーケーなんですけれども、やはり避難所だし、い
つどこで災害が起こるか分からないので、避難先で避難所を開設するとき
に、川村小学校と山北中学校は常に使われる学校の体育館なんですけど、こ
この体育館にエアコンを設置するという考えはありますでしょうか。

町長、いかがですか。

議 長 町長。

町 長 最初考えました。当然エアコンをつけたらどうかということは。

しかし、業者のほうに聞きましたら、ほとんど効果がないと言われました
んで。要するにエアコンの問題じゃなくて、密閉度をどのくらい上げるか
ということでない、エアコンをつけてもほとんど効き目がないということ
です。根本的なところを検討し始めるということで、エアコンについては
ちょっと今無理だろうというふうに考えております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 今ほとんど効き目がなくて無理だろうという話ですが、川村小学校の体育
館は、通常でも学童の子どもたちも使ってますよね。それがまた夏になると、
プールに行けばいいんでしょうけども、結構夏でも体育館にいる子たちがい
るんです。そういう子たちのためにも、やっぱり少しでも涼しいところ、夏
休みは長いですから、そう思うと、やはり避難所にもなってるし、子どもた
ちのためにもという考えで、エアコンはどうなのかなと思うんですが、その
辺はいかがですか。

議 長 町長。

町 長 一番いい例というか、今、代替の体育館はやりますけど、エアコンがつくように、全部外装をそういうふうにも二重じゃないにしても入れて、温度が上がらないように、あるいは密閉度を上げてつけるようにできます。ですから要するに体育館につけたいんですけども、つけても効果がなければ何の意味もないんじゃないか。ですから、順番としてはもしやるのであれば、全部体育館を断熱をしっかりとさせて、その後につけるという作業になるというふうに思いますんで、そういったことが可能かどうかということを実際に金額の問題ですけども、そういうようなことをこれからも検討していきたいというふうに思ってます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 子どもたちのことですので、避難所のこともありますけども、夏を乗り切ることが大変な時期になってますので、可動式のエアコンを設置してる町もあると伺ったんです。やはり莫大な費用がかかるので、だったら部分的に冷やしていったりとかできる可動式のエアコンがあるんだよということをお聞きしましたので、そういうのをやってる町もあると聞きましたので。何らかの対策というのは大事じゃないかなと思うんですが、いかがですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 私のほうでお答えできるのは、有事の際のものになりますが、今現在このような状況でエアコン等が設置されてない中で、避難所の開設が必要になった、それが真夏であった場合などについては、今うちのほうで備えとしては、相互応援協定なんかをさせていただいてる中に、リース会社なんかとも結ばせていただいております。そういった場合にそういった機械を借りれたり、扇風機とかエアコン、もちろん停電の場合は難しいんですけど、そういった備えは防災の面ではしております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、有事の際はリース会社にお話をして借りられますよということで、よろしいんですね。

それで、そうしますと、学童の子どもたちは夏休みは我慢しろということですね。

議 長 副町長。

副 町 長 体育館のエアコンの設置ですけれども、小学校が昨年度実施設計を計画しました。そのとき、まず小学校からエアコンの体育館設置できないかということで見積り等も取ったり試算したんですけれども、エアコンだけだったら何とか町の今の予算の中では可能だろうというところまで行ったんですけれども。やはり、先ほど町長も話しましたように、エアコンを設置しただけでは何も効果がないということで、外壁・内壁全部断熱工事をしなきゃ、そうすると莫大な費用がかかってしまって、本当に残念なんですけれども、断念せざるを得なかったというような状況の中、今後、そういう中でどういう形で対応していけばいいのか、スポットクーラーがいいのかどういった形がいいのか、そういった形も含めて、この体育館の冷房の冷房化というんですか、そういった面について、小学校の学童もありますし、中学校についても部活動等もありますし、いろんな活動もしてますので、そういった面では、これから、そういった体育館での冷房設置について、しっかりと検討していくところに入っているのかなというふうに思っていますので、その辺の認識は町もしっかり持っておりまして、実際にそういうところもありましたけども、ちょっと断念をしているというようなところがございますけども、ずっと断念するんじゃなくて、今後の中でどういう形がいいのか、そういったものについては検討していきたいというふうに考えてございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 今いろんな検討していただけてますので、やはり年度じゃないんですけども、どれぐらいまでにこういうふうに計画的にやっていこうとか、金額が高くて大変というのは重々分かるんですけども、やはり子どもたちのためにどうにかできないかという部分では、しっかりと計画性を立てていただくとうれしいと思いますが、いかがですか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるように、当初、当然小学校からやろうということで、予算を立てようとしたわけですよ。ですけど、今副長の言われたとおり、効果がないということですので、町としては別の方法で、何とかほかの子どもたちの熱中症とか何かを防ぐために温度をどういうふうに下げるか、エアコンでないとすれば、何か別のものを用意しなければいけないというふうには考えてお

りますので、そういったものについては、やはり今の最新の機械の中で、そういうものがあれば、そういったものを設置していきたいというふうに思っております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 それは、ぜひ早い時期に実現するようにお待ちしております。

それと、次、3点目の災害時避難に職員が配置されてるかという質問なんですけれども、これはここの回答に書いてあることはもっともなことなんですけれども、私が一番聞きたかったのは、職員が配置される場合に、一つの避難所、大きい、小さいはあると思うんですけれども、大体何名ぐらいを予想として立てているのか、伺いたいんですが。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 これまでの避難所の開設時には、どのくらい避難者が来るのではなかろうかというような想定を立てた上で、職員の張りつけをしております。

なお、職員の張りつけについては、災害対策本部の中で四つの部に分かれております。その中でも教育部というところが中心となって避難所の開設に当たりますので、教育部の職員を中心として避難所を幾つかに割り当てて、避難所についてはそのときの状況に応じて決めさせていただいております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、避難所に来られる方の人数に変わりが、何というか、何名にするかということを決めていくという形ですか。そうしますと、ここの中では男女を混ぜての配置になりますか、それとも男性だけとかという形ですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 特段男女の分けはございません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 男女の分けがないということは、その人数だけでということですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 男女の比率を分けているということとはございませんが、当然女性も各避難所に必要だなというような配慮はいたしております。

議 長 熊澤友子議員。

- 9 番 熊 澤 そうしますと、決まってるということで、私が一番言いたかったのは、避難所には男性もちろんですけども、女性の職員さんも必要ではないかということが一番思われるんですね。やはり男性の方の仕事と女性の方がやるべきことというのは違ってきてる部分もあるので、その辺はしっかりと男性と女性ときちっと配置していただければと思うんですが、いかがですか。
- 議 長 地域防災課長。
- 地 域 防 災 課 長 そのように考慮したいと思います。
- 議 長 熊澤友子議員。
- 9 番 熊 澤 前もお聞きしたかと思うんですが、避難所運営については、いまだに、ちゃんと、きちんと入ってこられる方々には、講習会とかは受けていらっしゃるんですか。避難所運営とかの講習会がありますよね。ごめんなさい、避難所じゃない、職員さんの研修は受けていらっしゃいますか。
- 議 長 地域防災課長。
- 地 域 防 災 課 長 毎年総合防災訓練などに職員を参加させて、訓練をさせていただいてます。
- また、たまたま今月の末に、新採用職員、昨年1年間、避難所の設営がなかったんですね。ですので、昨年の新採用、今年の新採用、それをひっくるめた形で職員防災訓練という名目で避難訓練、避難所の設営訓練を行う予定になってます。
- 議 長 熊澤友子議員。
- 9 番 熊 澤 ある程度訓練を受けてないと、避難所に行っても職員さんも大変な思いをしてしまうと思うので、やはり訓練はきちっと受けていただいて、それを基にして避難所で活躍していただければありがたいと思います。
- それでは、次に4点目の避難所においてペットのルールが定められていると思うが、周知はされているのかということについて、回答では周知をしていますということですが、これはどのように、ペーパーだけの周知でしょうか。
- 議 長 地域防災課長。
- 地 域 防 災 課 長 周知をしているというような回答ではないと思うんですが、今まさしく検討中というのが一番ふさわしい回答かと思います。この回答にもありますとおり、避難所における課題であると今認識しておりまして、まさしく川村小

学校やら山北中学校での受入れが可能かどうか、昨年も向原の総合防災訓練で、実際にペットの受入れなんかをやったりして、今検討中というのが一番回答的にはふさわしい言葉かと思います。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、検討中が一番だと言いましたけれども、住民の皆様は、今度避難するときは連れていっていいんだねと思ってる方々もいらっしゃるんですよ。それで、もし検討がやっぱり駄目だったとなったら、なる可能性はないですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 うちではどこでもペットの受入れをいたしますよというような周知はしてございませんので、中には連れてこられる方もいらっしゃいますけど、そういった方には丁寧に対応したいと思っています。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 では、昨年のことで、連れてきていただいた場合の避難のどのような問題点が挙げられたのでしょうか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 うちのほうでもなかなか周知が進んでおりませんので、ペットを連れてきて避難をされた方が、同伴避難というような判断をされてる方が大変多いなという気がいたしました。避難所の中にペットと一緒に入れるんだなというふうに考えてる方が多いんだというのが一番の感想です。

実は同行避難までの体制しか整えておりませんので、ペットは外につないでいただくというような今体制を、まだそこまでの検討しかしておりませんので、よろしくお願いします。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 これは町から頂いたものなんですけど、「防災と医療のいざガイド」という、これにペットの同伴避難のことは書かれていたと思うんですが、この中で、迷子札とかマイクロチップとか、いろいろ問題があるんじゃないかと思うんですが、この辺は検討はされてるんですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 うちのほうでは、回答にも書かせていただいておりますとおり、今年度発

行予定の防災ハンドブックを皮切りに、ここで周知を開始したいというふう
に考えています。このハンドブックが皆様にお配りする頃になりましたら、
ありとあらゆる媒体で周知が始まる予定となっております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 では、そのハンドブックの中にもいろんなルールをつけていくということ
でよろしいですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 今ネットを見ても、大体環境省が出している一般的な内容かなというふう
に考えてます。今度ハンドブックに載せるに当たって、同じようなことを載
せても意味がありませんので、山北町のバージョンで少しアレンジした形に
なろうかと思います。アレンジするといってもすごい発展的なものにできる
とは限りませんが、山北町においてペットが対応できる場所とか、そういつ
たものも盛り込んでいきたいと考えております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 ペットにマイクロチップをつけるということは、とても、2022年からは業
者も飼い主もマイクロチップをつけるようにと義務づけられてはいると思う
んですが、それ前にペットを飼われてる方たちは、マイクロチップというこ
とだけで大変な思いをするのではないかなと思うんですが、その辺はどのよう
にお考えですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 環境省等のペットを飼ってる皆様への注意喚起として、マイクロチップな
んかもありますけど、ここら辺を山北町のチラシに明記するかどうかという
のは、ちょっとまだ確定はしてございません。

しかしながら、最低限のしつけやゲージにならず訓練、健康面のチェック、
ワクチン接種、このような当たり前のことについては、ぜひとも周知をして
いきたいと考えております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、マイクロチップのことはまだはっきりとは言えないという
形なんですかね。つけるような義務化という形ではなくという形ですか。そ
れで、あれですか。でもこれって山北町で発行してますよね、2024年版で。

山北町で出てますけど。マイクロチップなどいろいろ載ってますけど。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 発行は山北町ではございません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 これは山北版という形でほかの業者が出してるという形なんですか。そうなんですか。私はこれにペットが出てるので、マイクロチップをやって、ちゃんとした迷子の首輪をつけて、それでもって同行で避難できるのかなと思ったんですね。じゃあそこまではまだ進んでないということですね。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 山北町がたとえ発行したとしても、ペットに関するルールについては、今環境省等が定めている一般的な情報しか載せることがないというふうに考えておりますので、それもおそらくそういった内容だというふうに思っております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 じゃあ、そうしますと、ここに載っているんですけども、やはりこれで調べますと、ペットのマイクロチップ、チップにも町・自治体で補助金を出してる市・町もありますよということがうたわれてるところもあるんですね。そこまでは考えてはいないですか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 はい。今のところ。申し訳ございません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 今高齢の方は犬や猫を飼われてる方が結構多いんですね。そうなりますと、やはり一緒に避難したいと出てくる人が多いと思うんです。

ですから、町としてのルールができましたら、分かりやすく、できるかなと思うようなルールでやっていただければありがたいと思いますが、いかがでしょうか。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 分かりやすく周知をしていきたいと思ってます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 それで、その辺の周知は来年度でしたか、今年度でした。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 おそらく発行の事務が年度末までかかるんじゃないかというふうに思っています。3月には間違いなく各世帯、全世帯にお配りできると思います。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 申し訳ございません、終わります。ありがとうございます。